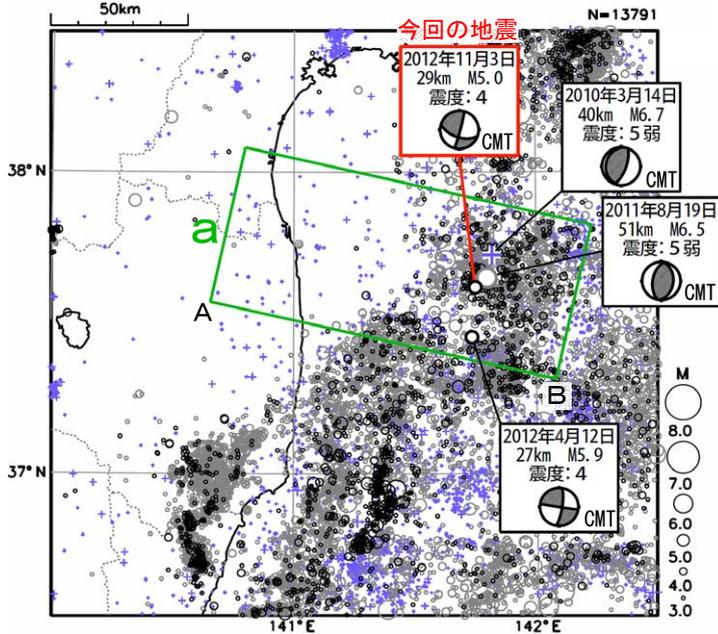


11月3日 福島県沖の地震

震央分布図*

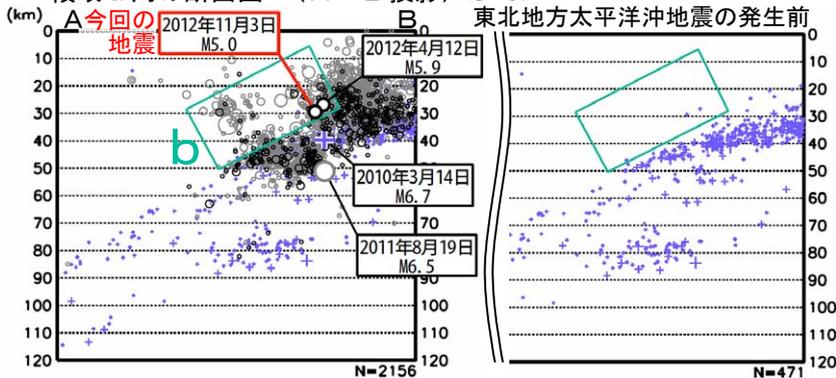
(1997年10月1日～2012年11月6日、深さ0～120km、 $M \geq 3.0$)
 東北地方太平洋沖地震以前に発生した地震を+、東北地方太平洋沖地震以降に発生した地震を薄い○、2011年12月以降に発生した地震を濃い○で表示



2012年11月3日07時34分に福島県沖の深さ29kmでM5.0の地震(最大震度4)が発生した。この地震は陸のプレートの地殻内で発生した。発震機構(CMT解)は北北西-南南東方向に張力軸を持つ横ずれ断層型である。

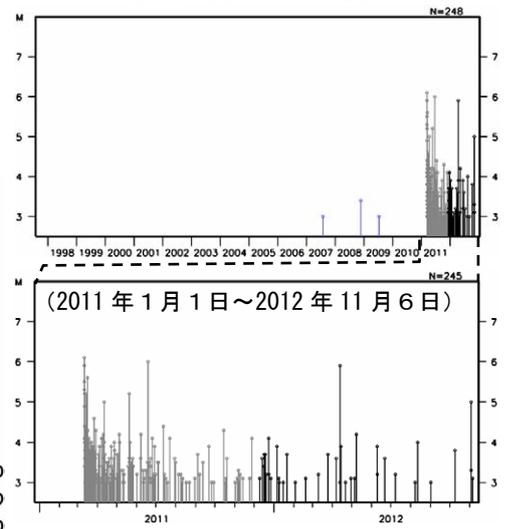
1997年10月以降の活動を見ると、今回の地震の震源付近(領域b)では、「平成23年(2011年)東北地方太平洋沖地震」の発生後に地震活動が活発化した。領域bでは2012年4月12日にも今回の地震と似た発震機構の地震が発生している。

領域a内の断面図* (A-B投影) (参考)



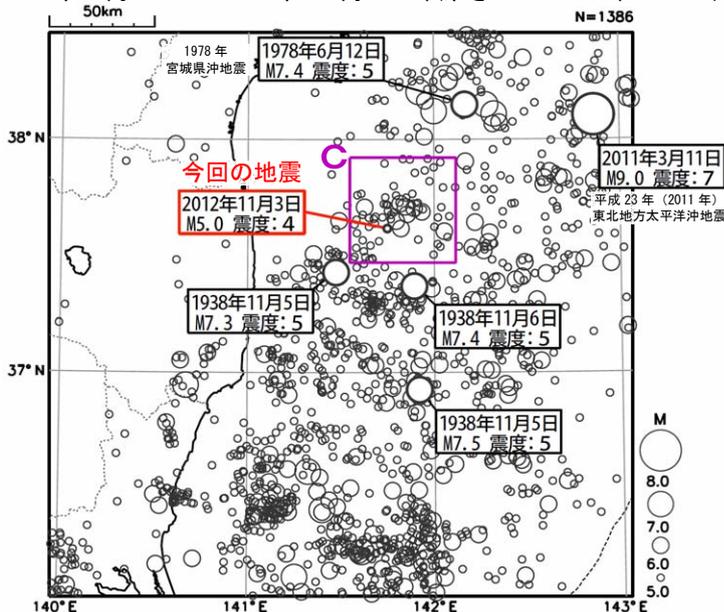
※ 2011年3月13日～5月30日に未処理のデータがある。

領域b内のM-T図*



震央分布図

(1923年1月1日～2012年11月6日、深さ0～150km、 $M \geq 5.0$)



1923年1月以降の活動を見ると、東北地方太平洋沖地震が発生する前、今回の地震の震央周辺(領域c)では、M5.0以上の地震がしばしば発生しているほか、M6.0を超える地震も20年に1回程度発生していた。

領域c内のM-T図

